



CONTENTS ◆4月例会開催◆特集シリーズ 中央会スペシャル

●次年度理事・監事・県出向役員候補 決定!! ●県事業を終えて ●会長連載「Spur」

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 秋里武信 ◆編集責任者/担当 副会長 権田和志 ◆制作・編集 第44期広報委員会/委員長 恵比木 健

4月例会開催!! ～卒会者は語る、現役会員への熱い想い～

平成31年4月15日(月)、ANAクラウンプラザホテル米子に於いて、平成最後となる鳥取県西部中小企業青年中央会4月例会が開催された。担当は、卒会予定者と新入会員。

次年度理事、監事、県出向役員候補承認



秋里会長は冒頭の挨拶にて「いよいよ新年号令和が発表されて来月より新しい時代を迎える。本例会では卒会者がそれぞれの言葉で洗いざらい話されると聞いた。とくに新入会員は先輩の背中を見ていろいろ覚えて成長してほしい。現役会員は卒会者の勇姿を目に焼き付けてほしい。また、今日は臨時総会が開催される。次年度理事、監事、県出向役員候補の承認も慎重審議をお願いしたい」と述べられた。

続いて、トライアスロンタイムが開催された。秋里会長より委嘱状および任命状が贈られ、各部長が熱のこもった意気込みを語った。高塚実行委員長は、各部長への激励の言葉と「会員は楽しんで参加してほしい」と述べられた。

臨時総会では、次年度理事、監事、県出向役員候補が選出され、満場一致で承認され



た。山口次年度会長と共に第45期を戦い抜く役員の布陣が決定した。

卒会者へ一問一答

新入会員と卒会者が協力し合い作り上げられた本例会。新入会員は卒会者の言葉を現役会員に伝えるために使命感を持って運営につとめ、今期卒会予定である8名の会員は、今後の中央会生活に於いて役に立つ情報を伝えると共にこれからの中央会への希望も述べた。



第一部では事前に会員から募った卒会者への質問をもとに、各卒会者にオリジナリティあふれる質問が飛び出した。壇上に会場を向いて一列に座す卒会者。質問内容を知らないがゆえに、どんな質問が飛び出すか、やや緊張の面持ちでスタートしたが、新入会員によるユーモアをまとった進行と卒会者の素直な解答に、会場からも卒会者へ向けて言葉が飛び出すなど、



第一部が終了する頃には会場が一体となり暖かい空気に包まれた。

卒会者より現役会員へ

続く第二部では、卒会者が一人一人壇上の前方に立ち、中央会に入会してから卒会に至るまでに様々な募る思いを語った。「新入会員の時代は、右も左もわからずとても苦労したが、続けたからこそ成長につながり、頑張ったからこそ唯一無二の友ができ、財産となった」と、自らの失敗談も含め語った卒会者の言葉に多数の現役会員が深く頷いた。そして「最初は苦労するが、続けていけば面白くなり、会に参加することが楽しくなっていくもの。特別なことはしなくていい、とにかく参加して伝統の中央会を存続してほしい」と、現役会員を叱咤激励する場面もあった。



卒会者の思いにスポットをあてたことにより非常に気づきの多い濃い例会となり、現役会員からの暖かい拍手が響く中、閉会した。

(記事:岡田)

4月例会を終えて



思います。本当に有難う御座いました。

4月例会に多くのご参加を頂き誠に有難う御座いました。この度の4月例会では入会した時期も、入会した動機も、それぞれ思いも考えも違う8名の卒会予定者が例会を通じて現役会員へ思いを伝えました。

第1部の一問一答では、質問内容を事前に聞かされておらず即興で素直な思いを丁寧に答えました。イレギュラーな質問が飛び込んできましたが男気で回答しましたよ！笑いもあり、失笑もあり、終始和やかな雰囲気の中進行しました。第2部「卒会者より現役会員へ」では、中央会での豊富な経験、体験を交えて更に熱いメッセージを発表して頂きました。

最後になりますが、本例会は新入会員と合同運営で取り組みました。コーディネーターの徳中会員はじめ新入会員の皆さんお疲れ様でした。事前打合せから当日本番までご協力有難う御座いました。

無事4月例会を終えてホッとしました。残り少ない中央会活動を個性溢れる8名と卒会を迎えたいと思

上田 康文 (うえだ イベント(株) 代表取締役)

次年度理事・監事・県出向役員候補 決定！！

【理事】

【会計担当理事】



松田 順次 会員 (平成22年5月入会) 平成28年度 副委員長
石田 倫章 会員 (平成25年5月入会) 平成27年度 副委員長
小谷 泰樹 会員 (平成25年6月入会) 平成30年度 副委員長
住 真介 会員 (平成25年6月入会) 平成27年度 副委員長
渡邊 公平 会員 (平成27年3月入会) 平成29年度 副委員長
田中 健雄 会員 (平成20年3月入会) 平成22年度 副委員長 / 平成24年度 県出向理事

【監事】

【県出向理事候補】

【県出向監事候補】



高塚 康治 会員 (平成19年11月入会) 平成26年度 副委員長 / 平成28年度 委員長 / 平成29年度 副会長 / 平成30年度 専務理事
松井 淳一 会員 (平成25年1月入会) 平成26年度 副委員長 / 平成27年度 委員長 / 平成28年度 県出向理事 / 平成29年度 副会長 / 平成30年度 副会長
安達 孝宏 会員 (平成27年7月入会) 平成28年度 県出向理事
山内 正樹 会員 (平成26年7月入会) 平成27年度 副委員長 / 平成28年度 会員拡大プロジェクトリーダー / 平成29年度 会員拡大担当理事 / 平成30年度 委員長
安達 信彦 会員 (平成29年2月入会) 平成30年度 副委員長
吉田 通代 会員 (平成30年11月入会)
村田 博 会員 (平成25年7月入会) 平成27年度 県出向理事 / 平成28年度 委員長 / 平成29年度 県出向理事 / 平成30年度 県出向理事

もっと
教えて！

県事業

第44期 県出向専務理事
堀尾 裕之



このたびは西部が主幹を務める県の運営について、県役員を代表してお伝えさせていただきます。今期も多くの方に県事業へご参加いただき、ありがとうございます。ご参加いただいた方はもちろん、役員会資料やハンサムでも事業の様子はご報告しておりますので、みなさんイメージはお持ちいただいているかと思います。一方で事業の裏側となると、お分かりになる方は少なくなるのではないのでしょうか。

県会長と県出向専務理事は各地区持ち回りで選出されますが、地区会長が務める県副会長、県出向理事、県出向監事は、毎期各地区から選出されます。そうです、県会長と県専務は3年に1度しか就任する機会のない役職で、私の前任であるOBが「ハレー彗星のような役職」と形容されていましたが、まさにそんな感じです。

県の役員会はおよそ2か月に1回、中間地点にあたる中部での開催が多いです。役員は3つの委員会に分かれて各事業を担当し、役員会の中で協議・審議を通じて完成度を高めていきます。今期はいつも18時30分(三役会はその1時間前)に開始していますので、時間の調整には毎回苦労するところです。いつでも顔を合わせて相談できる状況にない中、3地区合同ですので事業規模は大きくなります。こんな状況で大丈夫？と思われるかもしれませんが、しかし各委員長を中心に委員会メンバーが協力し合って成し遂げられるのです。中には臨時委員会を開催するなど、みんなが本気で取り組んでいる姿はさすがの一言に尽きます。役員会後は懇親会を開催し、県役員同士の親交もしっかりと深めています。(米子に帰ってからはもっと濃い懇親会もしています！)

他地区に知り合いが少ないと足が重くなってしまうかもしれません。しかしよく言われることですが、参加してみないと県事業の雰囲気や楽しさは感じ取ることはできません。

「百聞は一見に如かず」
私も今回初めて県役員をさせてもらったことで、他地区の知り合いがどんと増えました。皆さん、今後も積極的なご参加をお待ちしております！

「卒会者便り」



とうとうこの記事の依頼がきてしまいました。36歳で中央会の門を叩いて45歳までの丸9年間、在籍させて頂いたわけですが、40歳を過ぎた頃から月日の経つのが物凄く早く感じられるようになり、入会したのがついこの前のような気がしています。それだけ濃い時間だったということでしょうか。

思えば、入会した頃は知り合いもほぼおらず、会に参加しても面白いことも言えず、ただただお堅いイメージしか持たれなかったのではないかと思います。自分なりに殻を破ろうと、パンツ一丁になったり女装したり・・・イマイチ破り切れませんでした。

そんな私に唯一できたことはとにかく委員会・例会に参加することでした(お酒が飲める懇親会目当てでもありました)。記憶の限りでは、委員会・例会に出れなかったのは数回だけ(のはず)。

その甲斐もあって、中央会ではこれまで経験したことのないことをたくさん経験し、たくさんの方と出会い、たくさんの方の言葉を学びました。苦しいこともありましたが、いつの間にか中央会に参加するのが楽しくなっていて、みんなに会えるのが楽しみになってる自分になってる感じがしています。何故だかは分かりませんが、中央会でなければこんな気持ちにはなってないでしょう。ほんと不思議な会だなあと、中央会って。そんな簡単に一言では言い表せないのが魅力の中央会がこの先もずっと続いていくことを願っています。

From 三輪龍介 (綱アイクス 山陰支店支店長)

中央会スペシャル



File.07

『大山お地蔵様フェスティバル』

回想録（当日編）

企画構成 宇佐見（リーダー）、堀尾裕、本田、足立鷹、武田

「第1回の開催・準備に関わって良かった」

第1回担当委員長 足立駿会員

（足立ふとん店米子店 店長）

（前号の続き）当日の午前4時に暴風警報が発令！何で！？そんな予報なかったのに…。朝6時30分、準備していたテントや備品が飛んでいたり、近くの建物の屋根が全部剥がれて大山寺参道に落ちたりしたので、一般参加は中止することになりました。風速30m/sでしたからね、立っているのがやっとでした。また、大山周辺のイベントは全て中止になり、開催という選択は無かったですね。予期せぬ事態に、委員会のみならずごく暗くて、重く沈んだ空気…。どうしようもできないあの悔しさ、忘れることができないですね。

関係各所いろんな方に中止のお知らせをするのに、日曜でなかなか連絡取れなくてパニック状態でした。あと、臨時総会を予定していたので、例会だけでも開催したい。けど、警報が発令されている大山町ではできない。尾高に米子勤労者体育センターがあり、開館時間に連絡を取ると空いていたので、「よし！そこでやろう」と。そこからみんなで必死に準備をして、なんとか例会を

開催することが出来ました。9時頃には風も弱まってきていたので、通常通り集合した会員の皆さんからは「何で？」って言われましたね。

暴風警報は10時頃に解除され、その後はフェスティバル日和というくらいの晴天だったので、例会後、会員有志でお地蔵様の清掃や強風に飛んで行ったテントや備品等の片付けを行うため大山寺参道に移動しました。その際、絵画コンクールの展示を見学に来られたご家族の方やお子さんの姿を見たときは、嬉しかったですね。また、前日も高所のお地蔵様を清掃中、地元の方から「綺麗にしてくれてありがとう」と目に涙を浮かべ何度もお礼をして下さったことは、今でも心に残っています。

3月は参道にまだ雪が残っており、お地蔵様の位置や危険箇所を把握したのも4月入ってからで、リハーサルもなかなかできない状態で大変だったのですが、第1回を開催・準備出来たことは大変素晴らしいことでした。

「天候にも恵まれ、自分なりの色は出せた」

第2回担当委員長 高井賢一会員

（有松友 統括マネージャー）

（前号の続き）朝5時に目が覚め、宿泊先から真っ先に外へ飛び出しました。1回目中止になったので不安はありましたが、夜明けの空は、雲ひとつない晴天。予報通りの天候に「よし、やるぞ！」と気合いが入りましたね。

危険箇所には事前にバリケードやカラーコーンを設置していましたが、当日にもう一度確認したところ川が氾濫していたため、急遽1体のお地蔵さま巡りを取り止めました。やはり安全が第一ですからね。

新企画の流し蕎麦は、当初は100mの流しにする予定でしたが、さすがに無理だということで50mに変更しました。本物の竹を伐採することから取り掛かったので、準備は大変でしたが、皆さんが美味しく食べている姿を見て、モノづくりの面白さも体感できました。

石碑も当初は立て札にする予定でしたが、国立公園なので景観

のことや杭の根入れ長など、厳しい条件をクリアすることができませんでした。検討を重ねた結果、石碑を設置することになりました。申請は大変でしたが、形あるものを残せて良かったです。

「きのはちLIVE2017」は、スタッフが足りなくて、準備段階から色々問題が発生しました。一つ一つ解決していき実現できたこともあり、大山をバックに演奏された尺八の音色は心に響きましたね。300人を超える集客があり大盛況でした。

自分なりの色は出せたかなと思いますね。4月は雪や突風のことも心配でしたし、天気の変り変わりが激しいということで、2回目は5月開催としたことも良かったのかもしれません。本当に天候に恵まれました。始まる前にみんなで円陣が組みたかったので、実現できて本当嬉しかったですね。たくさんの仲間を支えられ、そして囲まれて活動できたことは、とても幸せな時間となりました。

「雨だから失敗ではない」

第3回担当委員長 堀尾一仁会員

（株）堀尾建築設計事務所 専務取締役）

（前号の続き）雨天バージョンは体育館開催。警察犬の競技イベントは中止になり、体育館を全部借りる予定になっていました。ところが、行ってみると、警察犬がいっぱい！結構な雨が降っているのに…。ホワイエや駐車場も借りる予定でしたが使用することができなくなったため、入口を体育館側に移動したりして対応しましたが変更もスムーズに行えました。

縁日もできて、会員のお子さんたちが楽しんでいる姿を見ることができて良かったですね。お地蔵様の清掃は後日行うことにしましたが、外に展示していた絵画を見てもらえなかったことが心残りでした。というのも、絵画の募集は、これまで大山町、伯耆町、江府町だけでしたが、3回目は米子市のほうにも声を掛けました。とにかく地域に広めたいという想いも強かったですし、良い作品がたくさん集まっていたので、多くの方に見てもらいたい！！その想いから、日程や場所などを検討し、6月5日～6月

17日にイオン米子駅前店で展示会を開催しました。たくさんの方に見に来て頂いたのが良かったですね。最終日には、キャラクターの愛称募集も含めて表彰式も行うことができました。心残りだったことがすべて実行できたので、悔いは無いですね！だから、雨だったから、失敗したとは思ってないですね。準備する事にも意味がありますね。今となっては、雨の中、カッパ着てステージ等を片づけたことも良い思い出になりました。

「大山開山1300年祭」で盛り上がりの中、行政を巻き込んで、経済団体らしさも出てきたかな。「にこっとさま」も様々なイベントに呼ばれましたし、1300年記念の開創法要の1週間前ということで、ファーストイベントという位置付けにして頂き、プロジェクトを周知できたこと、会員みんなで一つの目標に向かって準備出来たことは、継続事業として来期につながる活動ができましたね。

一原点、そして未来へー ミニ座談会

足立駿「当時の松田会長から中央会って何なのって言われたとき、トリアスロンしかない。そんな中で、中央会を外部に向けてPRできる継続できる事業をやってほしいというところから始まったんだけど、悩んだ末に、大山のお地藏様に着目したんだよね。」

高井「第2回では、お地藏様なら大山だけじゃない。米子にもあるじゃないかという話も出ましたね。」

足立駿「そうそう、名前に地藏が入っているから、そこだけにスポットを当てると、地藏は他にもあるじゃないかとなってしま。でも、最初はそうじゃないんだよね。根本は『大山』。大山の参道に人を集めよう。そこにお地藏様があったからスポットは当てているけど、地藏だけに縛らなくてもいいんだよね。」

堀尾一「大山とお地藏様を通してではあるけど、子供たちの心の成長に関わり『ふるさと』の原風景を残すことが継続事業のミッションですしね。」

足立駿「実際には、プロジェクト名に入っているんで、お地藏様は外せないと思うけど、目的を見失わなければ、変化してもいいと思うんだよね。」

堀尾一「あと、もう少し雨の準備をしないとイケなかったかなと。」

足立駿「うんうん。晴れのイメージが強すぎたね。」

高井「今回は副会長として、委員長を地藏のように見守ります(笑)。」



継続事業の始まったきっかけや担当委員長の熱い想いを知る機会となりました。皆さん、お忙しい中取材にご協力いただき、ありがとうございました！

(記事:宇佐見)

会長連載

Spur

～シュプール～

第44期 会長 秋里武信

軌跡

“頼まれごととは、試されごと”

中部青年中央会でもご講演された、(有)クロフネカンパニー代表取締役社長 中村文昭氏が自身の行動哲学のひとつとして話をされる言葉です。

ジュースを買ってきくと頼まれた時、普通に歩いて買ってくるのか？全力疾走で汗だくで買ってくるのか？それだけで、頼んだ側の人を受ける印象は全く違う。普通に買ってくれば社交辞令の「ありがとう」で終わってしまうが、汗だくで買ってこれたら「何故そこまでやってくれるんだ」と頼んだ人の心を鷲掴みにして絶対に忘れられないだろう。平凡な頼まれごとでも、夢や取り柄が無くとも、取り組み方ひとつで感動は与えられる。だからこそ、頼まれた側は「必ず予想を上回ってみせますよ」「必ず驚かせてみせますよ」と心に誓い、全力で受けるのだ。それが自分を活かす為、経験を積み上げる為のチャンスなのだからと仰られます。

第44期も残り2ヶ月。私も頼まれた側の人間です。全力で燃え尽きたいと思います。

四十の手習い ～貪欲に学ぶ～

竹谷 友成 (有)竹谷保険事務所 専務取締役

四十の手習いという程ではないが、“知る”を続けている事で、災害時等の人命救助関連技術や最新装備、アイデア等について触れてみる。

こう書くと「ドコからそんな知識や情報を？」と言われそうだが、そこはそれ、消防官等から教えてもらったり、テレビ番組等を見る他に、専門雑誌の「Jレスキュー」(マニアックなので消防や救助関係者等しか読まないと思うが)を読んだりしている。

このJレスキュー、事故や災害の現場での「助かった・大変だった・改善すべき」といった様々な事について、その当事者からの情報が多く参考になる上、新素材や、新型装備品(消防車等)、より新しい救命方法や技術・アイデアなども豊富に載っていて、常に発見のある雑誌なのである。(モノ作り系の人によいかも)

「耐災害性日本一 都市・米子」にいるつもりが多いと思うが、万一の事故や災害の折、自分や周囲の人を救ってくれるのは、ほんの些細な知識かもしれないので、興味のある方はこのジャンルに一度触れてみてはどうだろう。



5月役員会報告

令和元年5月7日(火) 米子市公会堂集会室5にて5月役員会が開催されました。主な議題は以下の通りです。

- ・4月例会開催の件
- ・お地藏さまプロジェクトの件
- ・6月例会開催の件

※なお、詳細については各委員長までご確認ください。

会社移転のお知らせ

中村 友紀 会員
株式会社 サンイントウエイ
(新住所) 〒689-3403 米子市淀江町西原1337番地-41
お手数ですが会員手帳の修正をお願いします。

編集後記

2回にわたりお送りした大山お地藏様フェスティバル特集、如何でしたでしょうか？歴代の担当委員長の様々な想いを知る良い機会となりました。「継続は力なり」。現役会員として後世に残せる活動をしていきたいものですね。

(広報委員会 武田 希)